

# 小児医療費助成

# 来春から小6までに拡充

公明党横浜市会議員団

仁田まさとし

現在開会中の横浜市会第3回定例会で9月21日、通院にかかる小児医療費助成の対象がこれまでの小学3年生までから6年生までに拡充する条例改正案が可決されました。

料化を提案しました。以来一貫して制度の拡充を求め、着実に事業が拡充されてきました。

昨年10月から助成対象が小学1年生までから3年生までに拡充されました。これが来年4月から6年生までに拡充されます。新たに助成対象となる小学4〜6年生は、医療保険制度の3割負担から通院1回の窓口負担ゼロを目指す。

## 24年前から提案

公明党市議員団は1992年に横浜市会で初めて小児医療費の自己負担の無

負担を最大500円までとすることにより、医療費負担が大幅に軽減されます。

保護者が市民税非課税の場合、小学4〜6年生も全額助成されます。

子育て支援策の中で重要な役割を担っている小児医療助成は本来、国が行う事業であり、国に対しても医療費助成制度の安定運営と拡充への環境整備の充実を強く要望していきます。

## 負担ゼロ目指す

命に関わる医療について、経済的理由で受診を控えることは解消すべきです。本来、窓口負担がないことが理想であり、今回の拡充で

十分とは言えません。今後、国に助成事業に充てられる財源が確保された場合、市が窓口負担を見直す可能性もあることも確認しました。公明党市議員団は、す

## 「ごみ屋敷」問題解消へ

この定例会では、いわゆる「ごみ屋敷」の解消へ向けた条例も成立し、12月から施行されます。

公明党市議員団はこれまで市民から「ごみ屋敷」について、苦情相談を受け、条例化を含め実効性のある対策を要望してきました。昨年9月には「安心の住環境の整備推進に関する要望書」を市長に提出。ごみの撤去に加え、再発防止の面から、福祉的な観点でのサポートなど、問題の根本的な解決に向けた取り組みを進めるべきと訴えてきました。生活環境改善へ向けた取り組みを続けていきます。



### 仁田まさとし プロフィール

- 建築・都市整備・道路委員会
- 減災対策推進特別委員会
- ◇ 施政方針は「動く、創る、変える。」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
- Facebook 情報発信中